

とよかわ



- 新しい市議会の構成、決まる！ p2
- 対前年度比5.5%減！25年度予算は1,111億6,043万円！ p4
- 代表、一般質問で18人が市政を問う！ ... p9
- 議会改革の検討まとまる！ p16

表紙写真／里山の田園風景
加藤甲子雄（東曙町）
平成21年6月12日撮影
表紙写真を一般募集しています。詳しくは議会事務局まで。



新しい市議会の構成

5月13日に開催された臨時市議会において、議長を始め、新しい役割が決まりました。



議会選出監査委員
小林 琢生



副議長
柳田 通夫



議長
今泉 淳乙

就任あいさつ

このたび、議員各位のご推挙をいただき、市制施行70周年という節目の年に議長を担わせていただくこととなりました。職責の重さに身の引き締まる思いでございます。

責任の重さを一層痛感しています。市民の皆様の声が市政に届くことが行政のあるべき姿であると感じ、本市の発展と市民福祉の推進に、誠心誠意、努力をいたす覚悟です。

市民の皆様への負託に応えるべき議会を目指して一生懸命努めてまいりますので、今まで以上にご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

本会議の議席

議長
演壇

野本 柴田 興澤 堀内 質問席 平松 早川 柴田 倉橋

榊原 大嶽 富田 二村 堀部 松下 井川 中川

太田 柳田 美馬 波多野 大野 小林 石原 山本 佐藤 安間

中村 今泉 鈴川 鈴木

会派

■とよかわ未来（12人）

堀内 重佳、興澤 和行、柴田 輝明、野本 逸郎
二村 良子、富田 潤、大嶽 理恵、榊原 洋二
柳田 通夫、太田 直人、今泉 淳乙、中村 直巳

■緑風会（8人）

早川 喬俊、平松 八郎、松下 広和、堀部 賢一
山本 和美、石原 政明、小林 琢生、大野 良彦

■自民党豊川市議団（4人）

波多野文男、美馬ゆきえ、鈴木 義章、鈴川 智彦

■公明党市議団（3人）

柴田 訓成、中川 雅之、井川 郁恵

■日本共産党豊川市議団（2人）

安間 寛子、佐藤 郁恵

■1人会派（清廉の志）（1人）

倉橋 英樹

議会運営委員会

議会運営委員会は、議長の諮問的な機関であり、議会運営全般にわたって、舵取りする機関です。

その構成は、各会派の議員数に応じて選出され、委員定数は条例により9人と定められています。

委員長 中村 直巳
副委員長 石原 政明
委員 野本 逸郎、井川 郁恵
二村 良子、榊原 洋二
佐藤 郁恵、山本 和美
波多野文男

政治倫理審査会

会長 太田 直人
副会長 堀部 賢一
委員 早川 喬俊、野本 逸郎
中川 雅之、榊原 洋二
安間 寛子、鈴木 義章
中村 直巳

常任委員会

広範多岐にわたり、しかも専門化、高度化していく地方公共団体の事務を合理的、能率的に調査し、審査するために常設している市議会内の部門別の委員会

◎委員長・○副委員長

総務委員会

所管

- 企画部 秘書課、人事課、企画政策課、情報システム課
- 総務部 行政課、財政課、管財契約課、市民税課、収納課、資産税課
- 消防本部 総務課、予防課、防災対策課、通信指令課、消防署
- 他の委員会の所管に属さない事項



大野 良彦、波多野文男、太田 直人、柳田 通夫
倉橋 英樹、◎大嶽 理恵、○平松 八郎、安間 寛子

所管

- 健康福祉部 福祉課、子ども課、介護高齢課、保険年金課、保健センター
- 環境部 環境課、清掃事業課
- 市民病院 診療局、診療技術局、看護局、庶務課、医事課 ほか



堀部 賢一、早川 喬俊、柴田 訓成、榊原 洋二
佐藤 郁恵、◎鈴木 智彦、○奥澤 和行、二村 良子

福祉環境委員会

所管

- 市民部 市民課、市民協働国際課、人権交通防犯課、文化振興課
- 教育委員会 庶務課、学校教育課、生涯学習課、スポーツ課、学校給食課、中央図書館



山本 和美、鈴木 義章、今泉 淳乙
野本 逸郎、◎松下 広和、○柴田 輝明、井川 郁恵

市民文教委員会

所管

- 産業部 企業立地推進課、農務課、商業観光課
- 建設部 道路維持課、道路建設課、公園緑地課、建築課、都市計画課、区画整理課、一宮地区建設課
- 上下水道部 下水管理課、下水整備課、水道業務課、水道整備課

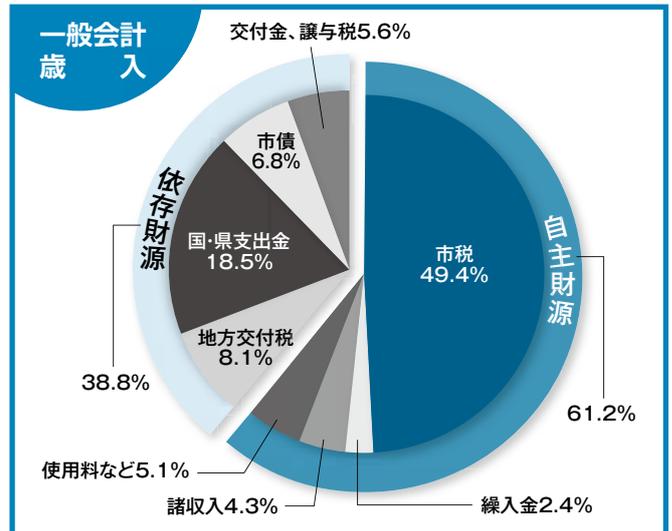
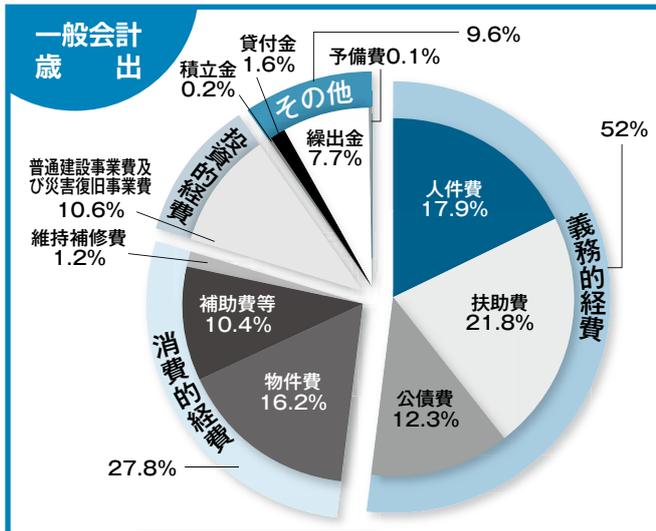


石原 政明、中村 直巳、堀内 重佳
小林 琢生、◎富田 潤、○中川 雅之、美馬ゆきえ

産業建設委員会

全会計で、総額1,111億6,043万円!

一般会計は546.1億円(対前年度比5.5%減)



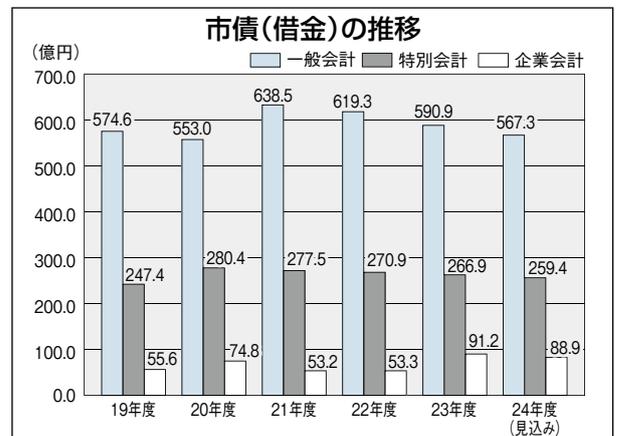
何に、どのくらい使っているの?

大型施設の建設が一段落したことにより25年度予算は減額となりましたが、市制施行70周年記念事業やB-1グランプリ事業を中心に、災害に強いまちづくり、子育て支援、地域の活性化文化及びスポーツの振興に重点が置かれています。特に、子ども医療費は中学校3年生まで完全無料となりました。また、職員定数の適正化も進められ、人件費も抑制されています。

ちゃんと貯金しているの?



借金はどのくらいあるの?



市の家計簿

市の予算を家計簿に置き換えてみると
どうなるでしょう。一般会計の総額を
年間546万円の収入とすると・・・。



預金の残高は?・・・約108万円

基金(貯金)の残高 約107億6,485万円(見込み)

借金の返済残高は?・・・約567万円

市債(借金)の残高 約567億2,930万円(見込み)

市の予算(歳入)

項 目		金 額
自主財源	市税、分担金及び負担金、繰越金、諸収入など	320億8,066万 2 千円
	繰入金	12億8,546万 4 千円
依存財源	地方消費税交付金、地方交付税など	74億4,486万 5 千円
	国庫支出金、県支出金	101億1,180万 9 千円
	市 債	36億8,720万円
歳入合計		546億 1 千万円

豊川家の家計簿(収入)

項 目	金 額		比 率
	年 間	1ヵ月	
給 料	約321万円	約26.7万円	58.7%
貯金の取り崩し	約13万円	約1.1万円	2.4%
親からの援助	約175万円	約14.6万円	32.1%
借 金	約37万円	約3.1万円	6.8%
収入合計	約546万円	約45.5万円	100.0%

市の予算(歳出)

項 目		金 額
義務的経費	人件費	97億6,342万 1 千円
	扶助費	119億320万 5 千円
	公債費	67億2,376万 3 千円
普通建設事業費		57億7,966万 3 千円
その他経費	物件費	88億5,637万 3 千円
	繰出金	41億8,913万 3 千円
	補助費、貸付金など	72億7,308万 6 千円
	積立金	1 億2,135万 6 千円
歳出合計		546億 1 千万円

豊川家の家計簿(支出)

項 目	金 額		比 率
	年 間	1ヵ月	
食 費	約98万円	約8.1万円	17.9%
医療費	約119万円	約9.9万円	21.8%
借金の返済	約67万円	約5.6万円	12.3%
自宅の増改築費	約58万円	約4.8万円	10.6%
光熱水費	約88万円	約7.4万円	16.2%
子どもへの仕送り	約42万円	約3.5万円	7.7%
町内会費、生命保険など	約73万円	約6.1万円	13.3%
貯 金	約 1 万円	約0.1万円	0.2%
支出合計	約546万円	約45.5万円	100.0%

その他の会計

特別会計

会 計 名	25年度当初	対前年度比
一宮財産区管理事業	110万円	↓47.6%
赤坂財産区管理事業	310万円	47.6%
長沢財産区管理事業	390万円	0.0%
萩財産区管理事業	1,180万円	5.4%

企業会計

会 計 名	25年度当初	対前年度比
水道事業	50億6,478.9万円	1.4%
病院事業	151億9,924.2万円	↓42.5%

特別会計

会 計 名	25年度当初	対前年度比
豊川西部土地区画整理事業	3億4,190万円	↓33.5%
豊川駅東土地区画整理事業	4億7,350万円	↓28.7%
公共下水道事業	51億2,240万円	↓4.9%
農業集落排水事業	9,430万円	3.1%
公共駐車場事業	1億1,000万円	41.4%
国民健康保険	169億7,590万円	↓0.2%
後期高齢者医療	18億8,600万円	5.4%
介護保険	106億8,450万円	3.9%
土地取得	5億7,800万円	↓1.2%

本会議の状況

3月定例会は、2月21日から3月21日までの29日間を会期として開かれました。25年度予算を始めとした議案35件のほか、報告2件、諮問1件が提出されました。そのほか、議員発議の議案1件、意見書1件が審議されました。

5月臨時会では、議案2件、同意2件、報告1件が提出されました。また、新市民病院建設調査特別委員会の調査終了が報告されました。

主な議案と審議結果

3月定例会

補正予算

◎一般会計補正予算
(第7号)

24年度一般会計歳入歳出予算の総額に、それぞれ8億3千91万6千円が追加され、総額607億863万4千円となりました。

主な内容

・温泉施設整備基金積立金

本宮の湯の大規模改修や災害の備えとして、寄附金から2千万円、一般会計から2千万円、合計4千万円が積み立てられました。

・消防車両等購入費

本署、西分署、一宮出張所に配備の消防車両の更新として救急車3台、小坂井第1分団に配備の消防団車両の更新として小型ポンプ付積載車1台を購入するため、9千100万円が

新たに追加されました。

・校舎施設営繕費

屋内運動場床面の全面補修が必要と判断された11小学校の屋内運動場床改修工事費として、3千300万円が新たに追加されました。

・土地取得費

ほかの土地との一体管理が望ましいなどの理由により、千両町三月田の土地のほか、桜町千両線及び大池線の道路用地を土地開発公社から買い戻すため、2億6千349万6千円が新たに追加されました。

原案可決



市民の安心のため、活躍する救急車

職員定数適正化 新市民病院・消防署南分署に対応

◎職員定数条例の一部改正(原案可決)

職員定数の適正化を図るため、市長の事務部局及び教育委員会の事務部局においては削減されますが、消防署南分署の設置及び新市民病院の開院に伴う体制整備のため、消防部局と病院部局においては増員されます。



◎一般会計補正予算
(第8号)

24年度一般会計歳入歳出予算の総額に、それぞれ2億3千784万円が追加され、総額609億4千647万4千円となりました。

この補正予算は学校施設の改修に対するものであり、次の改修が行われます。

・小坂井西小学校及び御津中学校校舎の外壁等の改修

・設置済みの一宮中学校及び小坂井中学校

を除く全中学校の音楽室への空調設備の設置

原案可決



議員が 提案した 議案

◆委員会条例の一部改正

25年4月から市の組織が見直されることに伴い、常任委員会の名称及び所管を変更するものです。

- 「総務委員会」
↓名称変更なし
 - 「健康福祉委員会」
↓「福祉環境委員会」
 - 「経済文教委員会」
↓「市民文教委員会」
 - 「建設消防委員会」
↓「産業建設委員会」
- 原案可決

◆愛知県の福祉医療制度の存続を求める意見書

【意見書の要旨】
福祉医療制度は、子ども、障害者、高齢者

などが健康的に安定した暮らしをするために、大変重要な制度である。県の見直し案では、子ども医療費無料化を実施する本市の財政に与える影響が大きく、厳しい状況となる。県民が安心して必要な医療を受けられるよう、現行制度の存続を強く要望する。

【審議結果】

議員全員異議なく可決し、意見書を提出しました。

【提出先】

愛知県知事

5月臨時会

◎学校給食配送車及び学校給食用食器の取得
現在の学校給食センターと新設される南部学校給食センター（仮称）に、合計9台の給食配送車と1万8千食分の食器を購入するものです。

原案可決

反対!!

市民要求を反映した施策があり評価するが、人件費削減や民間委託に伴う賃金低下は購買力の向上が求められている状況に反しており、今後、生活保護費も国の削減方針を反映させる見通しで、市民の貧困化の促進が懸念される。さらに、このダムがなくても水不足の心配はなく、もし決壊したら死者が発生すると言われている設楽ダム建設の負担金が計上されていることから反対する。

主な討論

25年度一般会計予算

賛成!!

本予算により市制施行70周年記念事業が多く展開され、本市の魅力を大きく発信できる。また、将来の財政負担とならないよう、ファシリテイマネジメントの推進により老朽化施設の修繕や改築が計画的に進められている点が評価できる。厳しい財政状況の中、市民ニーズにあわせた対応や子どもたちへの投資にも配慮され、バランスが考えられた予算だと考えることから賛成する。

※会派別賛否の状況については、議決状況の一覧でご確認ください。

議決状況の一覧

3月定例会

○賛成・×反対

未来一とよかわ未来 (12) 緑風一緑風会 (8) 自民一自民党豊川市議団 (4) 公明一公明党市議団 (3)
共産一日本共産党豊川市議団 (2) 無党派一1人会派(清廉の志) (1) ※ () 内は所属人数

議案名	会派別賛否状況						議決結果
	未来	緑風	自民	公明	共産	無党派	
1 25年度一般会計予算	○	○	○	○	×	×	可決
2 25年度東三河都市計画事業豊川西部土地区画整理事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	可決
3 25年度東三河都市計画事業豊川駅東土地区画整理事業特別会計予算	○	○	○	○	×	○	可決
4 25年度公共下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	可決
5 25年度農業集落排水事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	可決

議 案 名	会 派 別 賛 否 状 況						議 決 結 果
	未 来	緑 風	自 民	公 明	共 産	無 会 派	
6 25年度公共駐車場事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	可決
7 25年度国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	×	○	可決
8 25年度後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	×	○	可決
9 25年度介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	可決
10 25年度土地取得特別会計予算	○	○	○	○	○	○	可決
11 25年度一宮財産区管理事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	可決
12 25年度赤坂財産区管理事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	可決
13 25年度長沢財産区管理事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	可決
14 25年度萩財産区管理事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	可決
15 25年度水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	可決
16 25年度病院事業会計予算	○	○	○	○	×	○	可決
17 24年度一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	可決
18 24年度東三河都市計画事業豊川西部土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	可決
19 24年度東三河都市計画事業豊川駅東土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	可決
20 24年度公共駐車場事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	可決
21 24年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	可決
22 24年度土地取得特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	可決
23 職員定数条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	可決
24 公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	可決
25 職員退職手当支給条例等の一部改正	○	○	○	○	×	○	可決
26 手数料条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	可決
27 豊川地域文化広場条例の廃止	○	○	○	○	○	○	可決
28 公共自転車駐車場条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	可決
29 公共用物の管理に関する条例及び道路占用料等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	可決
30 消防団条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	可決
31 障害者自立支援法の一部を改正する法律及び障害者自立支援法施行令の一部を改正する政令の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	可決
32 市道路線の廃止	○	○	○	○	○	○	可決
33 市道路線の認定	○	○	○	○	○	○	可決
34 訴えの提起	○	○	○	○	○	○	可決
35 24年度一般会計補正予算(第8号)	○	○	○	○	○	○	可決
報告1 損害賠償の額の決定に関する専決処分報告	—	—	—	—	—	—	報告
報告2 変更契約の締結に関する専決処分報告	—	—	—	—	—	—	報告
諮問1 人権擁護委員候補者の推薦	○	○	○	○	○	○	異議ない
議発1 市議会委員会条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	可決
意見1 愛知県の福祉医療制度の存続を求める意見書の発議	○	○	○	○	○	○	可決

報告1及び報告2については、報告のみで採決はありません。

5月臨時会

議 案 名	会 派 別 賛 否 状 況						議 決 結 果
	未 来	緑 風	自 民	公 明	共 産	無 会 派	
36 学校給食配送車の取得	○	○	○	○	○	○	可決
37 学校給食用食器の取得	○	○	○	○	○	○	可決
同意1 固定資産評価員の選任同意	○	○	○	○	○	○	同意
同意2 監査委員の選任同意	○	○	○	○	○	○	同意
報告3 損害賠償の額の決定に関する専決処分報告	—	—	—	—	—	—	報告
新市民病院建設調査特別委員会の調査終了	—	—	—	—	—	—	調査終了

報告3については、報告のみで採決はありません。

※議案に対する討論の通告をすることが申し合わせにより決められ、討論の通告がない議案については一括採決することとなっています。

市政を問う!代表・一般質問

太田 直人	「25年度施政方針並びに予算案大綱」
石原 政明	「25年度施政方針並びに予算案大綱」
美馬 ゆきえ	「25年度予算編成」「政権交代による影響等」「防災対策」「企業用地」「地域の一体化と公共交通」「支所機能の充実と今後の考え方」「新市民病院建設事業」
井川 郁恵	「25年度施政方針及び予算案大綱」
安間 寛子	「25年度施政方針並びに予算案大綱」
榊原 洋二	「市内公共施設の移動円滑化推進」「市道における円滑移動推進と交通安全」
奥澤 和行	「B-1グランプリ in 豊川」
二村 良子	「児童館管理を直営にもどすことは可能かどうか」
柴田 訓成	「障がい者施策の推進」
倉橋 英樹	「学校教育の安全管理と指導」「生活保護の不正受給」
富田 潤	「自警団のあり方と情報提供」「消防団員確保」
大嶽 理恵	「次世代育成支援対策地域行動計画(後期計画)」「教育行政」
堀部 賢一	「PCB及びアスベストなどの社会問題」「『公共建築物等における木材の利用の促進に関する方針』の施行について、関連を含み確認する」
中川 雅之	「救急体制」
小林 琢生	「企業用地開発」「スポーツの盛んなまちづくり」
佐藤 郁恵	「東三河広域連合の問題点と本市の考え」「教師の体罰・パワハラをなくすために」
早川 喬俊	「新市民病院の看護体制」「路上喫煙対策」
今泉 淳乙	「財務関連」「生活関連」「防災関連」「医療関連」

Representative question

代表質問

25年度予算の特徴と重点施策は?

とよかわ未来代表 太田直人



【問】25年度予算の特徴と重点施策は。

【答】市制施行70周年記念事業とB-1グランプリを中心に、地域の一体感を高め、地域経済を活性化させる施策を展開することが特徴で、災害に強いまちづくり、新市民病院の

開院、子育て支援、文化・スポーツの振興などを重点施策とした。

【問】行政経営改革ア

クションプランの進捗

状況と今後の方向性は

【答】税収確保策の強

化、少数精鋭の推進な

どを中心に実施してお

り、今年度の目標は達

成できる見込み。行政資源の確保や有効活用を注ぎ、行政経営改革ビジョンの将来像の実現を目指す。

【問】新市民病院での病診連携の取り組みは

【答】病診連携による予約受け入れを増やし、地域の医療機関に加え、広域での連携も進め、新たな取り組みの効果を広く周知していく。

マニフェストの進捗と予算への反映は?

緑風会代表 石原政明



【問】マニフェストの進捗と予算への反映は。

【答】八幡駅のバリア

フリー化など、おおむ

ね計画通りに進んでい

る。桜ヶ丘ミュージア

ムの改修、中学生の医

療費完全無料化などを

予算に計上している。

【問】政権交代による

本市への影響は。

【答】政権交代により

国の予算編成が遅れた

が、交付金などメリッ

トがあるものは活用し

て、当該事業を前倒しして

実施することとした。

【問】25年度の行政、

協働の取り組みは。

【答】地区集会所施設の

環境整備などを行い、町内会の加入促進に取り組む。また、広報提供の充実、職員の研修などにより市民サービスの向上を目指す。

【問】東三河の広域連携に対する考えは。

【答】東三河県庁と東三河8市町村との連携を深めることが東三河の持続的な発展につながるかと期待している。

①病診連携

医療機関には、かかりつけ医がいる診療所と専門医がいる総合病院があり、この診療所と総合病院が緊密に連絡を取り合うことにより一貫性のある医療を提供すること。

自主防災活動向上のための考えは？

自民党豊川市議団代表 美馬ゆきえ



【問】自主防災活動向上のための考えは。

【答】自主防災会の支援強化策として、防災士資格の取得に対する補助の新設、災害時を想定した避難所運営訓練などを行う。

【問】新たな企業用地開発の計画は。

【答】企業立地アクションプランで選定した候補地から開発適地を絞り込み、25年度以降に企業用地としての検討を進めていく。

【問】コミュニケーションバスの新市民病院への乗り入れの予定は。

【答】25年5月から、

千両三上線以外のすべての基幹路線が新市民病院を経由する予定。

診療時間を考慮した時間帯の便を設定するなどの工夫をしている。

【問】支所機能充実の考え方は。

【答】行政の身近な窓口としての役割を果たすよう、職員を適材適所に配置し、研修による職務能力向上を図る。

市制施行記念事業の取り組み内容と期待する効果は？

公明党市議団代表 井川郁恵



【問】市制施行70周年記念事業の取り組み内容と期待する効果は。

【答】春のさくら展、夏のNHKのど自慢など、四季を通じたさまざまなイベントのほか、第2段の健康体操の普及啓発など、これまでの理念を引き継ぐ事業

も予定している。また、市民と共に取り組む協賛事業も実施し、地域の和が市域全体に広がることを期待している。

【問】学校教育施策に関する予算対応は。

【答】いじめ、不登校対策をねらいとした相談活動の充実、老朽化

した校舎の改修等、学校施設の環境整備、学校給食のアレルギー対策などに取り組む。

【問】学校給食でのアレルギー対応食提供までのスケジュールは。

【答】食物アレルギー対応マニュアルの作成後、25年10月を目標に卵除去食の提供を試行し、26年度から全小、中学校で実施する予定。

職員削減では市民生活を守れない。どう応えるのか？

日本共産党豊川市議団代表 安間寛子



【問】職員削減では市民生活を守れない。どう応えるのか。

【答】市民サービスが低下しないよう、管理職機能の集約や効率化を図れるところから職員を削減し、業務の効率化と職員の精鋭化に取り組む。また、再任用職員なども活用する。

【問】地元中小企業への支援の内容は。

【答】雇用確保のための雇用促進奨励金、企業の流出防止のための再投資促進補助金など

の制度を実施している。

【問】住宅リフォーム助成を行わないのか。

【答】今は考えていない。今後は、住宅耐震改修の補助制度の拡充を検討し、PRに努めたい。

【問】福祉医療費無料制度の継続を、いつ県に求めていくのか。

【答】今後行われる県からのヒアリングの際に、無料制度の継続を求める考えを主張していく。



市役所北庁舎西口の スロープの安全対策は？

榊原 洋二



【問】市役所北庁舎西口のスロープの安全対策は。

【答】道路とスロープの交点を一旦停止としているが、スロープの終点部分に柵などを設置することも検討する。

【答】身体障害者用を含む庁舎内の17器の便器をシャワーつき洋式便器に変更した。手すりの設置や段差の解消についても考えていく。

【問】本市の歩道整備の方法は。

【答】歩車道ブロックの設置による車両の速

度抑制と歩道の確保、路肩のカラー舗装などによる運転者への注意喚起を図り、歩行者の安全を確保している。

【問】通学路の緊急合点検で判明した危険箇所への対策は。

【答】年度内におおむね実施済みとなる見込みであり、残りの箇所についても実施に向けて調整中である。

B-1グランプリin豊川の 進捗状況は？

奥澤 和行



【問】B-1グランプリin豊川における愛知県からの支援状況は。

【答】大村知事等が実行委員として就任することが決まった。また、県内外で積極的にPRをしていただく。

【答】ボランティア育成として、来場者への目配り、気配りを身につけていただくよう観光まちづくりゼミナールを開催した。今後は、ボランティア実習、ボランティアリーダー研修会を開催する。

【問】25年度における

関連事業は。

【答】5月に関連事業を開催し、大会本番に向けて機運を高めている。

【問】東三河における広域連携の状況は。

【答】会場周辺において、東三河の観光情報等を発信する事業を検討している。また、交通面や人的な支援もお願いしている。

児童館管理を 市直営に戻せないか？

二村 良子



【問】児童館を指定管理としたことの評価は。

【答】これまで同じ事業所が継続して受託したことはないが、収支状況は赤字になっておらず、大きな問題もなく運営されている。

【問】現在の指定管理者になつて1年経過するが、評価と課題は。

【答】利用者からの苦情等はなく、順調な運営をしていたいただいている。研修会への参加機会も確保されている。

【問】指定管理者制度

導入後のメリット、デメリットは。

【答】メリットは、経費の節約や民間ノウハウの導入。デメリットは、短期間で指定管理者が交代することだが、その都度新しい考え方が導入されるためデメリットばかりではない。

【問】児童館管理を市直営に戻せないか。

【答】管理や運営面で特段の問題も生じていないため、現時点で直営に戻す考えはない。



②歩車道ブロック
車道と歩道の境界を明確にするブロックのこと。

障害者総合支援法の主な内容は？

柴田 訓成



【問】 障害者総合支援法の主な内容は？

【答】 障害者自立支援法を改正するもので、主な改正内容は、基本理念の創設、障害者範囲の見直し、障害者に対する支援の充実等である。

体制の現状と課題は。

【答】 7カ所の法人に委託し、障害者が自立した日常生活を送れるように支援業務を行っている。課題は相談業務の一本化、人材育成等である。

【問】 基幹相談支援センター^③の設置時期は。

【答】 事業内容の確定や人材確保を考慮すると、予定している25年度中の設置は困難である。

【問】 障害者就労支援の具体的な取り組みは。

【答】 定期的な就労相談会の開催等に加え、福祉シヨップあいを活用した就労支援、福祉関係団体への物品購入などの発注をしている。

学校教育における体罰や懲戒に関する考え方は？

倉橋 英樹



【問】 学校教育における体罰や懲戒に関する考え方は？

【答】 体罰は児童、生徒の人権や人格を侵害する行為であり、許されない。懲戒は教員に認められた行為であるが、保護者の理解を得ながら連携した指導

としていきたい。

【問】 不適切な指導を未然に防ぐ手だては。

【答】 本市では学級づくりを中心に重点を置いて教員研修を行っており、不祥事防止の研修もある。チームで対応することで不適切な指導を防止できると考える。

自警団への迅速で正確な情報提供は？

富田 潤



【問】 消防団や関係者に送っている指令メールを自警団にも送るなど、迅速で正確な情報提供の必要性は。

【答】 消防団や関係者に送っている指令メールを自警団にも送るなど、迅速で正確な情報提供できるような手段を団長会議などで検討していきたい。

【問】 自警団は、火災発生時に消防団と役割分担するとともに、消防隊の活動をバックアップする仕組みを構築できるよう、機会をとらえて消防団や自警団に働きかけていく。また、本市防災メールへの登録の推進を行うとともに、火災発生時に自警団に対して迅速に

【問】 今後は、消防団員の確保がさらに難しくなる。本市職員の消防団への入団促進の取り組みは。

【答】 各部署への入団促進の働きかけ、庁内掲示板への掲示、定期的なメール発信により地域の防災意識を高めることで消防団への入団促進を図り、団員確保に努める。

【問】 生活保護費不正受給の状況は。

【答】 就労収入、年金収入、預貯金などがありながら無申告の場合があり、23年度は、受給世帯のうち6.0割の世帯で不正受給があった。

【問】 不正受給の防止策は。

【答】 今年度から、収入の確認書をいただくことにした。



③基幹相談支援センター
相談しやすい環境を整備したり、相談支援事業所間の総合調整や困難ケースへ対応するなど、関係機関との連携及び調整を行う相談支援事業所の中心的な機関のこと。

教育施設の老朽化対策は？

大嶽 理恵



【問】学校の老朽化が進み、施設の改修が重要課題となっているが、予算配分は。

【答】小規模な修繕は校舎の修繕として学校の規模等に応じて配分。小学校では遊具の数や規模等に依りて配分。大規模な修繕は教育委

員会庶務課で発注。学校施設の状況を調査し、優先順位を付けて、順次、施工していく。

【問】改修や改築に当たり、現場教師の声や地域の声を取り入れる考えは。

【答】より使いやすい学校となるよう、現場

教師の声を取り入れて改築の計画をしていく。児童、生徒、保護者、地域の高齢の方などの利用にも配慮したい。

【問】保育園等の施設改築や統合の考えは。

【答】施設の老朽化による改築や統合は喫緊の課題。施設や用地の有効かつ適正な利用を検討し、早い時期に具体的なものにした。

本市の救急活動の現状は？

中川 雅之



【問】本市の救急活動の現状は。

【答】24年中の出動件数は6千865件。この10年間で1.3倍に増加している。今後は、南分署に救急車を配備することにより、到着時間の短縮が期待される。

【問】119番通報受信時の消防指令センターの対応は。

【答】受信時の対応だけでは傷病者の状態がわからないため、救急車の出動要請があれば出動している。出動が

重なった場合、隣接市からの応援もある。

【問】救急車の適性利用についての考えは。

【答】救急出動件数が増えれば緊急性のあるケースに対応できなくなる可能性が高まるため、適性利用の啓発をしている。

【問】新市民病院開院後の救急医療体制構築の方向性は。

【答】27年度に救命救急センターの開設を考

PCB含有廃棄物処理問題の認識は？

堀部 賢一



【問】PCB特別措置法が15年延びる。この問題発覚から40年以上経過しているが、市役所関係の所管分で9割以上が未処理である。市の認識と、危機管理上から、市内の民間事業所を含めた未処理の実態把握が必要では。

【答】国内の処理施設が5カ所あり、新規処理施設の建設には住民反対が強いため廃棄処理が遅れている。県の保管台帳を利用し、本市としての保管台帳整備と定期的な情報収集に努める。

【問】「あいち木づか

【問】「あいち木づか



④PCB（ポリ塩化ビフェニル）
変圧器やコンデンサといった電気機器の絶縁油、塗料、ノンカーボン紙など、非常に幅広い分野に用いられたもの。毒性が高く発がん性があり、皮膚障害、内臓障害、ホルモン異常を引き起こすことが分かっている。

大木企業用地開発の評価は？

小林 琢生



【問】大木企業用地開発の評価は。

【答】旧一宮町との合併時における大きな事業であり、多くの皆様のご協力の中、地権者全員の同意が得られた。産業振興、雇用確保、地域活性化を期待する。

【問】平和公園や企業用地としての海軍工廠跡地の利用について、名古屋大学との交渉の成果は。

【答】無償譲渡はできないとのこと。進出希望の企業を探すなど、改めて譲渡方法について模索したい。

【問】市制施行70周年

東三河広域連合で行う予定の事務事業の財源は？

佐藤 郁恵



【問】東三河広域連合で行う予定の事務事業

の中には本市や市民の負担が増加しかねないものもあるが、財源は。

【答】実施する機運が高まれば、県との協議が必要と考える。

【問】東三河広域連合の設置に当たり、住民

判断を取り入れては。

【答】共通の事務事業が行われるのみなので、住民説明は必要だが住民投票は考えていない。

【問】学校での指導における体罰や不適切な指導の現状は。

【答】現時点で問題となる報告はない。

記念大会としてのトヨカワシティマラソンの取り組みは。

【答】著名なゲストランナーを迎え、地元企業や商店の協力をいただきながら内容の充実に努める。

【問】走りたくなるコース設定や走り切れる制限時間とする考えは。

【答】警察との協議の中で理解を求めていく。

【問】教師の多忙化解消への考えは。

【答】学校における会議の精選、チームワークを生かした学校運営等により多忙化を防ぎ、教師一人一人の健康状態に配慮していく。

【問】部活動における人的な環境整備は。

【答】専門的な指導ができる外部指導者の派遣を継続していく。

新市民病院における看護体制は？

早川 喬俊



【問】新市民病院における看護体制は。

【答】一般病棟においては7対1、精神病棟においては15対1の看護体制となる。

【問】看護師の離職防止対策は。

【答】看護補助者の活用や勤務体制の検討により、看護業務に専念できる環境整備を進めている。

【問】路上喫煙に対する考えは。

【答】やけどや衣服の焼け焦げ、また、子ども

もや車いすを利用する人の顔の高さとはほぼ同じになり、危険である。

【問】路上喫煙に関する条例制定に向けての考えは。

【答】路上喫煙による危険や受動喫煙による健康被害を防止するための取り組みは行政に求められていることだと思うが、慎重な対応が必要。市民意識調査や事故発生状況などの情報収集に努め、対応を検討していく。



23年第1回定例会での質問事項。

その後の取り組みは？

今泉 淳 乙



【問】 解散という選択肢も含め、土地開発公社のあり方は。

【答】 円滑な用地取得や現在進めている補助事業への対応のため、当面は存続。あり方はその後に検討していく。

【問】 農業振興のための取り組みは。

【答】 農業塾や就農塾などの農業研修、化学肥料や化学農薬を低減した本市農産物の啓発である。地産地消のほか、国内外の販路拡大にも取り組む。

【問】 新市民病院に開設されるバースセンターの運用方法は。

【答】 助産師の知識や技能向上のための学習会や研修会を継続実施し、先進病院での実務研修も行った。産科と小児科は同じ階層にあり、連携が可能。

【問】 病院の経営健全化に向けた取り組みは。

【答】 医師及び看護師を積極的に確保している。看護師向けの修学資金貸与制度もある。

ここに掲載した代表・一般質問の内容は抜粋したものですので、詳しくは、ホームページで公開している会議録をご覧ください。



議会だよりの表紙写真募集

議会だよりの表紙に皆様の写真を掲載してみませんか。

保育園や小中学校の行事や市内でのイベントなど、市内で撮影された写真(未発表のものに限ります)を広く募集しています。

なお、お寄せいただいた写真は、表紙以外の箇所に掲載させていただくことがあります。

また、撮影された本人または対象物の所有者の承諾が得られているものに限りします。

【応募方法】

題名、撮影場所、撮影日時、住所、氏名、電話番号を明記の上、議会事務局までお送りください。

みなさまの意見をお待ちしています。

【テーマ】

議会だよりの、議会ホームページについて

議会だよりの編集委員会では、議会だよりの読書率や議会ホームページの閲覧率の向上を目指し、よりよい議会広報とするため、皆様からの意見を募集しています。

【応募方法】

- ①ホームページに掲載されている回答様式をダウンロードし、議会事務局までメールにてお寄せください。
- ②メールの件名を「議会だよりについて」、「議会ホームページについて」としてください。
- ③回答の可否をご記載ください。
- ④回答が必要な方は、氏名、住所、電話番号、メールアドレスをご記載ください。

詳しくは、市議会ホームページでご確認いただくか、議会事務局へお問い合わせください。
お問い合わせ先・・・議会事務局(89-2150)

委員会などの開催状況

議会改革の検討結果

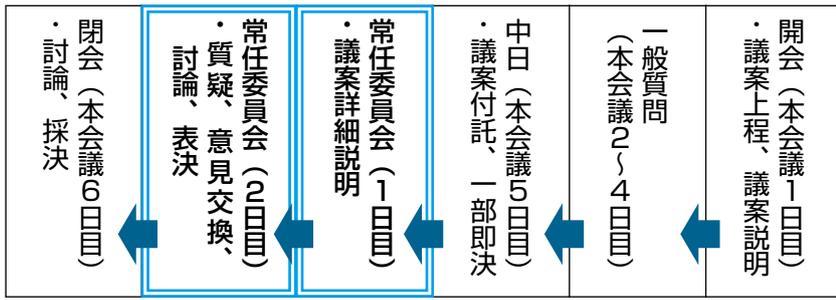
24年度は、「豊川市議会のあるべき姿」に挙げられた議会の機能強化と議員の資質向上について検討を深めました。

検討会を13回、グループに分かれての検討部会を2回、全議員向けの研修会を1回開催しました。検討部会ではブレインストーミングの手法により課題を抽出し、それぞれのグループにおいて抽出された課題について検討会で検討するなど、充実した取り組みとなりました。

その中で、議会の調査機能の充実を目指す観点から、議案審議の中心となる委員会審査を充実するための方策について検討し、25年度から、試行ではありますが、定例会にお

る常任委員会を2日間開催することとし、提出された議案に対する審議を深めることとしました。

会期中の 会議の流れ



ふれあい、 支えあいの社会へ

◎健康福祉委員会 1月16日

計画期間を25年度から29年度とする第2次豊川市地域福祉計画について、調査を行いました。現行計画の基

本理念「ふれあい 支えあい 夢のある元気なまち とよかわ」を引き継ぎ、市民、地域の団体、行政が福祉活動を重層的に行うことにより地域福祉力の向上を目指すこととされています。また、地区ごとに開催された懇談会での意見も取り入れられており、地域特性を反映したものがなっています。なお、この計画は、これまで市と社会福祉協議会が別々に策定していた計画を一体化したもので、双方の連携により計画の推進が図られます。

大地震への備えを

◎建設消防委員会 1月25日

新たな被害予測を踏まえて見直される豊川市建築物耐震改修促進計画について、調査を行いました。



平成7年の阪神・淡路大震災以降、大地震が頻発しており、大地震は、いつ、どこで発生してもおかしくない状況であるとの認識が広まっています。この地域でも東海、東南海、南海地震の三連動地震の発生が危惧されています。この見直しでは、住

健康第一！

◎健康福祉委員会 3月6日

特定健康診査及び特定保健指導の実施を推進する豊川市国民健康保険特定健康診査等実施計画の第2期目の計画について、調査を行いました。

この計画は、メタボリックシンドロームの

宅の耐震化に加え、災害時の被害を最小化する減災の促進が重点とされています。現在の耐震化率86%から、32年度時点では95%とすることが目標とされました。目標達成のため無料耐震診断や耐震改修の補助は継続され、また、人命が失われないようにする減災の考えから、耐震改修、耐震シェルター、耐震ベツドへの補助拡大も予定されています。

概念に注目し、糖尿病を始めとする生活習慣病の発症や重症化を予防することが目的とされています。本市の国民健康保険の費用額のうち生活習慣病の費用額は約25%であり、また、生活習慣病保有者の増加が明らかであることから、その重症化と合併症の発症を予防することが課題となっています。

このようなことから、計画最終年度の29年度における特定健康診査及び特定保健指導の実施率は、国の基本方針に基づき、ともに60%とされました。また、特定健康診査実施率の向上に向け、がん検診や人間ドックとの同時実施、休日や夕方での健診が予定され、基本的健診項目と詳細健診項目のほか、本市独自の健診項目の導入も検討されます。

新市民病院開院にあわせ、豊鉄バスが運行している新豊線及び豊川線と、コミュニティバス路線である豊川国府線、ゆうあいの里小坂井線、音羽線、御津線は新市民病院を経由するようになりました。また、御津町を通っていた名鉄バス東部(株)の西浦豊橋線は、4月1日をもって廃線となっています。

◎経済文教委員会
3月8日

5月からのバス路線見直しについて検討を行った地域公共交通会議の内容について、調査を行いました。

**新市民病院への
通院に配慮**



健康福祉委員会 行政視察

- ・1月15日(火) 大阪府泉南市 認知症ケア推進事業
- ・1月16日(水) 奈良県生駒市 介護予防の推進



泉南市会議室にて

泉南市は、認知症を予防することに加え、認知症になっても安心して暮らせる町を目指しています。そのため、認知症サポーターを、大人に限らず高校生、中学生、小学生まで広げ、ステップアップしながら認知症への理解を深める取り組みをしています。市内のどこにいてもサポーターがいるような状態は安心して暮らせることにつながり、高齢化社会に向かっていく現状からみて、大変参考となるものでした。

総務委員会 行政視察

- ・2月 5日(火) 長野県諏訪広域連合 広域連合の運営等
- ・2月 6日(水) 長野県長野広域連合 広域連合の運営等



諏訪市会議室にて

諏訪広域連合は、それまでの諏訪広域行政組合が発展する形で平成12年7月に設立されました。3市2町1村にわたり、介護保険や消防、ごみ処理、小児夜間急病センターなど、多くのことが実施されています。

本市を含んだ「東三河広域連合」の設立が検討されており、広域連合での取り組みが盛んな長野県内の広域連合視察は、今後の協議に向けて参考となるものでした。

次回の定例市議会(平成25年第2回定例会)

◆会期日程予定

6月 6日(木) 開会・議案説明 13時30分	6月19日(水) 常任委員会(議案審査) 10時
6月11日(火) 一般質問 10時	6月20日(木) 常任委員会(議案審査) 10時
6月12日(水) 一般質問 10時	6月25日(火) 常任委員会(討論・表決) 10時
6月13日(木) 一般質問 10時	6月26日(水) 常任委員会(討論・表決) 10時
6月17日(月) 議案付託・一部採決 13時30分	6月28日(金) 討論・採決・閉会 13時30分

インターネットで本会議の様子をライブ(生)、録画で配信します。

豊川市ホームページ内の「市議会ホームページ」をご覧ください。

会期中は本庁舎1階ロビーで、テレビモニターへの中継放送を行います。

議場での傍聴もできます。ぜひお越しください。

日程は変更になることもありますので、詳しくは議会事務局(Tel.89-2150)へお問い合わせください。

議会だより編集委員会

◎委員長 ○副委員長

新メンバーでスタートした本委員会の役割は、議会が説明責任を果たすツールとしての議会だより等を充実させることと理解しています。市民の皆様にとって関心を持っていただける紙面づくりに心がけたいと思いますので、ご期待ください。

編集委員長 堀内重佳

編集後記



柴田 訓成、波多野文男、安間 寛子
今泉 淳乙、◎堀内 重佳、○早川 喬俊、柳田 通夫

広告

財源確保のため、有料広告を掲載しています。広告の内容に関する問い合わせは直接広告主へ。

Wai Wai Point Card

わい!わい!ポイントカード 会員大募集!!

JAひまわりの事業利用でポイントを貯めて、値引きや商品交換に使用おう!
入会のお手続きは、JAひまわり各店舗まで!
(グリーンセンター・Aコープ・金融店舗など)

ひと・夢・いいね。
JAひまわり お問い合わせ先 本店 企画課 豊川市諏訪1-1 ☎85・3171

住宅ローン、各種ローンのご相談・年金相談・資産活用等のご相談

かわしん本店 休日相談プラザ
営業日/土曜・日曜・祝日 AM10:00~PM5:00

八南支店 日曜相談プラザ
営業日/日曜日 AM10:00~PM5:00

詳しくは窓口または休日相談プラザ予約窓口へ
(お問い合わせ先) 0120-18-9808

豊川信用金庫
豊かなくらしのお手伝い

発行/豊川市議会 編集/議会だより編集委員会
〒442-8601 豊川市諏訪1丁目1番地 電話0533-89-2150
豊川市のホームページで「議会だより」がご覧になれます。 URL : <http://www.city.toyokawa.lg.jp/>